

(様式1)

山教総第1496号

令和3年1月13日

文部科学大臣 殿

山陽小野田市長 藤田 剛二

施設整備計画の事後評価について

学校施設環境改善交付金交付要綱第8に基づき、下記のとおり施設整備計画の目標の達成状況に係る評価（事後評価）の結果を報告します。

1. 施設整備計画の名称

山陽小野田市公立学校等施設整備計画

2. 計画期間

平成28年度～平成29年度（2年間）

(担当)

山陽小野田市教育委員会教育総務課

住所：山口県山陽小野田市日の出1-1-1

電話：0836-82-1208

(様式2)

3. 事後評価の実施

(1) 実施時期

令和元年7月23日 評価会議開催
令和元年8月22日 評価会議開催
令和元年10月17日 評価結果を決定

(2) 評価の方法

・学識経験者による教育に関する事務の点検及び評価に関する会議において評価を行う。教育委員会の決定により3名の有識者による会議を設置する。会議は以下のスケジュールで3回開催して客観的に評価し、公表する。

第1回会議では、実施した全ての事業の説明を行い、点検・評価する事業の選定を行う。

第2回会議では、選定された事業の詳細な説明を担当課から行う。

第3回会議では、学識経験者から選定事業の評価をいただく。

・活動指標又は成果指標を設定し、事業の成果を定量的に把握し、評価する。

4. 総合的な所見

施設整備計画の目標は、達成できた。

学校給食調理場(新增築)建設事業については、本計画期間内においてⅠ期工事は計画通り完成し、Ⅱ期工事は建築作業員の不足により遅れが生じ、完成が1か月遅れたものの、平成30年8月の供用開始に影響はなかった。

埴生小学校危険改築事業については、国の平成29年度補正予算を活用するためⅠ期工事を同年度に前倒しした上で平成30年度に繰り越して計画通りに行った。

5. 各目標の達成状況

(1) 公立の義務教育諸学校等施設の老朽化対策を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(2) 地震、津波等の災害に備えるための整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

耐震性能が低く、老朽化している埴生小学校の校舎について、改築事業に着手した。

(3) 防犯対策など安全性の確保を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(4) 教育環境の質的な向上を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(5) 施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

市内12か所のウェットシステムによる老朽化した学校給食調理場を1か所に集約したドライシステムによる学校給食共同調理場を新築し、食物アレルギー対応を含む食の安全の確保と食缶・食器の性能の大幅な改善を図ることができた。

6. 改築後の危険建物等のとりこわし状況

(様式3)

7. 事業ごとの実施状況

学校等の名称	目標	事業区分	整備方針				事業完了年月日	(実施しなかった場合) 未実施の理由・今後の対応予定等	備考 (改築事業は、旧施設の とりこわし時期を明記)
			事業単位	建物区分	構造区分	全事業期間 (契約～完成)			
学校給食調理場(Ⅰ期工事)	(5)	22	共同調理場(新增築)	-	S	H28.11～H30.3	H29.3.31		
学校給食調理場(Ⅱ期工事)	(5)	22	共同調理場(新增築)	-	S	H28.11～H30.3	H30.4.27		
植生小学校(Ⅰ期工事)	(2)	01	危険改築	校	R	H30.3～H30.3	H31.3.31	工期延長あり 繰越事業	